

研究計画発表

A活用の現在

インターゼミ2019年度AI班:

市川駿、久津間晴夫、野呂瀬晋也、一杉波音、桑原悠、坂本堅辰（経営情報学部）

大高凜、菊地咲乃、四枝大樹、和田竜弥、(グローバルスタディーズ学部)

笹川祐子（大学院経営情報研究学科）

川合紀子（大学院修了生）

指導教員：久保田貴文、木村太一、高橋恭寛（経営情報学部）、渡邊泰典（グローバルスタディーズ学部）

過去の研究から

- ・ AIと高齢者の共生：高齢者の身体的、精神的、社会的な健康の維持・向上のためのAI技術活用法について論じた。
- ・ AIとくらし：AIの利点と欠点をまとめ、社会的弱者に対してAIの利活用できる場面を検討した。
- ・ AIと仕事：AIの仕事の代替と補助について調査し、人間にしかできないことについて議論した。

（今年度は過去の論文や今年度のテーマについて具体的な解決策を議論する）

A班の研究のゴール

- ・リサーチクエッション

現在の技術を補助する応用分野と、そのなかで、まだできないこと（ギャップ）を埋めるための技術。

- ・応用分野

言葉入力（自然言語）：チャットボット、教育利用

音声認識：観光におけるAI、AR(拡張現実)の利活用、ジェロントロジー（Airbnbの体験）

画像認識：ディープラーニング、自動運転、AR又はVR(仮想現実)

人工知能(AI)とは何か

- 人工知能とは、人工的に作られた知能を持つ実体のことである。
- 知能
 - ①環境に適応し自己を保存する能力 → 自分に都合の良いように環境を変更する能力
 - ②環境を自己に有利に変更する能力 → 自分に都合の良いように環境を変更する能力
 - ③学習能力 → 自分が学習したことを
 - ④伝達能力 → 仲間に伝達する能力
 - ⑤未来予測能力 → 知能の中心に据えた能力
 - ⑥抽象的記号操作を行う能力 → 「予測能力」の延長戦上にある能力

FW1サンシャインシティ (観光)

日時：令和元（2019）年5月18日（土）13時30分～15時30分

場所：株式会社サンシャインシティ60展望台

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号

VR体験：最先端テクノロジーによる体感型コンテンツ

装着するだけで360°バーチャル世界を体験出来る

目的：環境認識において、観光×AIを取り組みとしてAirbnbの体験を

考えた時に、どのような事を考えることが出来るか体験するため



FW2 TinyBetter(チャットボット)

日時：令和元年5月25日

場所：TinyBetter 株式会社東京都港区赤坂2丁目14-11

天翔オフィス赤坂303

対象者：樋口昭太郎氏 小宮誠氏

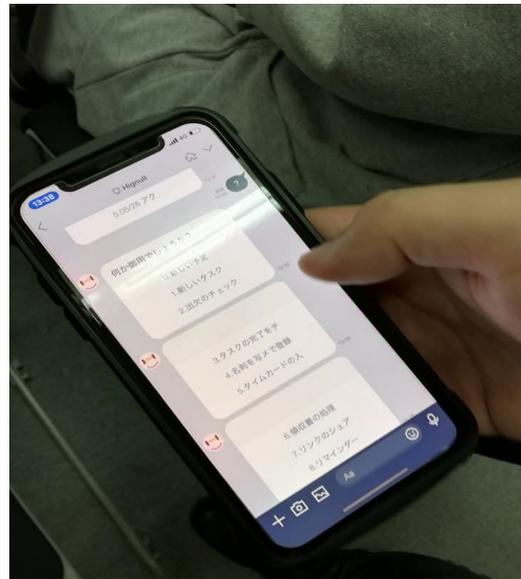
調査者：AI班

【ヒグヌルについて】

AIが人間の代わりに秘書になる可能性を持つシステム

LINE、カレンダーアプリやGoogleアプリと提携することで個人の予定を教えてくれたり他人と共有できたりする 空き時間検索機能もある

現状ではAI機能は搭載されていないが、今後必要に応じて搭載の可能性あり→AIが問題解決の最適解とは限らない



今後の予定

- ・ AIとは何か。AIのできること、できないことをUdemyで学ぶ。
- ・ 言語：チャットボットの利活用、教育利用→AI vs 教科書が読めない子どもたち
- ・ 音声：AI×観光×ジェロントロジー：Airbnbの体験 → Airbnbの規約、FW
- ・ 画像：自動運転 → どのように進化するのか
- ・ 観光関係についてFWの可否をJTBの方に打診する方針



文献

- 人工知能学会監修『人工知能とは』 近代科学社
- Udemy 『Grow with Google はじめてのAI』
- 新井紀子著『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』 東洋経済 2018年
- 山本一成著『人口知能はどのようにして「名人」を超えたのか？』
ダイヤモンド社 2017年
- 東洋経済 『AI時代に食える仕事、食えない仕事』 2019/4/13
- Airbnb規約 <https://www.airbnb.jp/terms>